



竹内(靖)

西野

木下

## 緑風会

代表質問者 竹内靖人

津山市の情報戦、消防  
団構想、高齢者雇用

**質問** ↓ 地域消防団について役割、定員、車輛の更新など、消防団の将来計画はどうなっているか。車輛が配備されていない消防機庫の数は。経費節減・機動力の向上から、軽四積載車の導入に取り組みが必要かと思うが。

**総務部長** ↓ 消防団は、地域に密着した防災・減災のかなめとして期待も高い。組織体制や装備等は「津山市消防団組織見直し・活性化プロジェクト会議」において面積や世帯数、団員の状況等、現状を踏まえ決定している。158棟ある機庫の内、配備されていない機庫は46棟ある。厳しい予算の中、車輛の更新年数は概ね20年〜25年である。軽四積載車は一部地域で導入しているが、山間部や市街地など道が狭い場所に有効である。今後は、効果的な活動が行える車輛配備について、消防団と連携し検討していきたい。

**質問** ↓ 市街地での火災時には水利の確保が難しいが、小学校等、プールの水を簡単に利用できる

ようにしては。

**総務部長** ↓ プールは貯水量も多く有効な消防水利である。現在、市内4小学校の新設プールには外から消火活動ができる採水口を設置している。今後、教育委員会や各関係機関を含め研究をしたい。

**質問** ↓ 具体的な成長戦略の手立てとして、能力主義の導入をする必要があるのではないか。意識改革・意欲向上にどんな取り組みをしているのか。

**総務部長** ↓ 能力や実績に応じた処遇についての必要性は感じていますが、職員の意欲を高め、人材育成に結びつかねばならない。導入に向けて、具体的な制度設計に着手したいと考えている。

**質問** ↓ 将来を見据え、目先の事にとられない施策の推進や地域資源を活用した財源づくりに取り組み必要がある。

**市長** ↓ 公社の解散は市の将来を見据えた行財政改革の一つである。市の特色を活かすことのできる成長分野を見極めた将来の戦略

を組み立て、総合的かつ効果的な施策の展開により、市全体のゆるやかな成長を実現し、厳しい時代を乗り切っていきたい。

**質問** ↓ 「戦略づくり」に情報の発信や収集は重要だが、デジタル情報だけでなく、東京事務所廃止後の今、「作州のつどい」の復活や省庁派遣等、何か考えるべきでは。

**市長** ↓ つどいが廃止に至った事情は様々あるようだが、多くの情報と人材が重要である。開催に向けては津山市として前向きに対応したい。

**質問** ↓ 高齢者雇用と健康づくりの関係は。養護老人ホーム等、待機者解消のためのシミュレーション、経費節減への対応はどうなっているか。

**環境福祉部長** ↓ 健康で働くことは医療費の削減も期待でき、様々な形態による就業機会の確保は重要である。待機者解消や自己負担額の軽減に向けては、今後の調査とともに国の動向を注視したい。